

部活動改革シンポジウム

第1部 取組等発表

2 都立学校の取組について

東京都教育庁指導部指導企画課
部活動振興担当

都立中学校等の部活動における地域連携・地域移行促進事業

1 目的

地域クラブ活動の体制整備について、地域クラブ活動の運営を通して検証を進め、その成果と課題をまとめ、休日の活動から段階的に部活動の地域移行を推進していく

2 取組

- (1) 地域団体と学校との連携
- (2) 外部委託による教員の負担軽減
- (3) 地域クラブ活動における指導者の質の確保
- (4) 活動場所の確保・施設の管理
- (5) 教員等の兼業・兼職

10校70部

バスケットボール、野球、サッカー、バドミントン、卓球、バレーボール、テニス、陸上競技、水泳、剣道、弓道、ラクロス、フラッグフットボール、吹奏楽、合唱、演劇、美術、科学、茶道、カルタ、など

平日
部活動



休日
地域クラブ活動



- ☐ 平日は、部活動として教員や部活動指導員等が指導
- ☐ 休日は、地域クラブ活動としてTEPROが運営
- ☐ 平日と休日の活動に一貫性をもたせて運営

都立中学校等の部活動における地域連携・地域移行促進事業

3 令和6年度の成果と課題

	令和6年度の実施	成果や課題
事務局及び コーディネーター	・指導者の確保 ・指導者の研修 ・指導者の連絡調整 ・費用の管理 ・学校との連携 ・施設の確保 ・保護者との連絡 ・保険加入手続 ・生徒の出欠確認 ・事故対応 ・指導計画の作成 ・大会参加の申込等	○ 教員の負担軽減 ● コーディネーターの普及
指導者の 確保・質の 向上	・指導者の選定：各学校から教育指導上の意見を聴取・面接や研修を実施 → 専門的な指導者を各学校の状況に合わせてマッチング ・協定を締結した大学からの学生指導補助の導入	○ 専門の指導者が複数体制となり、生徒の技能やモチベーションを向上させ、充実した活動を実施
学校との連 携	・事務局担当者、指導者、実施校管理職・顧問を構成員とする連絡会を開催 → 地域クラブ活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を共通理解 ・生徒の成長や生活全般を見通し、TEPROと実施校とが連携し、調整	○ 平日と休日の一貫した指導の実現
施設	・セキュリティカードの指導者への貸与等 → 教員が関わらなくても学校施設の解錠・施錠が可能	○ 教員の負担軽減

多様な地域クラブ活動プログラム 【Youth Activities in Tokyo】

1 プログラムの趣旨

- (1) 子供自身が実施したい活動を選択し、個人単位で休日に参加できるプログラムを構築を図る
- (2) 一つの種目を追求する、多くの種目を体験する等の多様なニーズに応えるプログラム内容を提供
- (3) 部活動の地域移行を踏まえ、これまで部活動が担ってきたスポーツ・文化芸術活動のプログラムを実施

2 令和7年度の内容

- 対 象:都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)
- 概 要:休日に多様な体験活動をメニュー化、生徒は希望する体験に無料で参加
- 規 模:6プログラム × 3会場



(ボルダリング)



(ボウリング)



(スケートボード)



(ダンス)



(軽音楽)



(e-スポーツ)

※各プログラム 年間20回(全4回×5ターム)